

第38回プロテオーム医療創薬研究会

【実施日】 2012年6月5日（火）18:00～19:30

【開 場】 横浜市立大学 福浦キャンパス D2 講義室

【来場者】 人数：80名

【内 容】

エーザイ株式会社より塚原克平先生(横浜市立大学免疫学客員教授)を講師として招き、「想薬、聰薬、創薬」の演題で講演していただいた。

ひとつの薬を開発するには10年以上の歳月がかかる。薬を開発する（創薬）するためには、どのような薬を世に送り届けたいかという想い（想薬）が大切であり、かつ実現するための聰い知恵と手段が必要である（聰薬）。そのためには、疾患を正しく理解すること、正しいターゲットを選択すること、新技術を最大限に活用すること、薬の作用が論理的に明確であること、ヒトに対して有効かつ安全であることなどが、開発の要件として求められる。講演では創薬の成功例や失敗例、化合物ライブラリーのスクリーニングの実際、シード化合物、リード化合物から臨床試験への各段階、大学と製薬企業の目的や役割のちがいなどがわかりやすく解説された。大学と製薬企業が連携すれば、革新的創薬へと繋がる可能性がある。

